

保護者の方へ・・・必ずお読みください 

水痘予防接種説明書

※ 水痘（水ぼうそう）とは

水痘（水ぼうそう）は、水痘・带状疱疹しんウイルスに初めて感染したときにみられる急性の感染症で、直接接触、飛沫あるいは空気感染によって広がる、最も感染力の強い感染症のひとつです。

潜伏期は通常 2 週間程度（10～21 日）です。特徴的な発疹が主な症状でかゆみを伴います。発熱を伴うこともあります。発疹は、斑点状の赤い丘しんから始まり、その後 3～4 日は水ぶくれとなり、最後はかさぶたを残して治癒します。通常、1 週間程度で自然治癒しますが、まれに脳炎や肺炎、肝機能の異常を伴うことがあり、敗血症などの重症の細菌感染症を合併することもあります。

※ 水痘ワクチンと接種方法について

水痘・带状疱疹しんウイルスを弱毒化してつくった生ワクチンです。

このワクチンを受けた者のうち、約20%は、後に水痘にかかることがあります。もしかかって軽くすむとされていますが、確実に予防するためには 2 回の接種を行います。

※ 対象年齢・接種方法について

対象年齢	標準的な接種期間		接種回数	接種間隔
生後 1 2 月から 生後 3 6 月に至る までの間にある者	初回	生後 1 2 月から生後 1 5 月に 達するまで	1 回	初回接種終了後 3 月以上の間隔をおく
	追加	1 回目の注射終了後 6 月から 12 月までの間隔をおく	1 回	

※ 接種後の副反応について

健康小児には副反応はほとんど認められません。時に発熱、発疹がみられ、まれに接種局所の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）がみられます。

裏面に続きます ▶▶▶

予防接種を受けるときの注意事項

予診票

「予診票」は接種する医師にとって、予防接種の可否を決める大切な情報です。

接種を受ける方の保護者が責任を持って記入し、正しい情報を医師に伝えてください。

予防接種を受けることができない人

- ① 接種当日、明らかに発熱（通常は 37.5℃以上をいいます）をしている人
- ② 重い急性疾患にかかっている人
- ③ 予防接種の接種液に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④ その他、医師が不適当と判断した人

接種前に医師（かかりつけ等）とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- ② 過去に予防接種で、接種後 2 日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- ③ 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
- ④ 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある人、及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる人
- ⑤ 卵の成分、抗菌薬、安定剤などにアレルギーがあるとされたことがある人

接種を受けたあとの一般的注意事項

- ① 予防接種を受けた後 30 分間程度は、医療機関(施設)でお子さんの様子を観察し、医師とすぐに連絡が取れるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ② 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすことはやめましょう。
- ④ 当日は、激しい運動は避けましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種による重篤な健康被害（障がい等）が発生した場合は、予防接種との因果関係が認定された場合に、健康被害救済制度が適用され、国の定める医療費や医療手当等の給付を受けることができます。給付申請の必要がある場合には、下記までご相談ください。

お問い合わせ先

山口市保健センター	TEL 083-921-2666
小郡保健福祉センター	TEL 083-973-8147
秋穂保健センター	TEL 083-984-8031
阿知須総合支所内 健康づくり・母子健康サポート阿知須担当	TEL 0836-65-4211
徳地保健センター	TEL 0835-52-1114
阿東保健センター	TEL 083-956-0993